

1 事業概要

事務事業名		中学校教育振興事業		課名	学校教育課	事業No.	285
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		9	個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する			
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画			
法令・例規等			学校教育法				
事業目的		対象	中学校				
		意図	中学校における学習環境を整える				

2 事業内容

29年度取組	取組内容	経費の内容		事業費(千円)
	1 中学校の教育活動に必要な物品、教材、図書等を計画的に整備しました。	1 中学校の教育活動に必要な物品、教材、図書等を計画的に整備しました。 2 中学生の社会科や理科、郷土学習等の副教材である「わたしたちの飯田市」の改訂、発刊しました。 3 授業に必要な教員用教科書、指導書の整備を行いました。 4 新たに教育指導主事を配置し、教員の指導力向上や授業改善に向けた取組を支援しました。 5 理科教育等設備整備補助金を活用し理科、数学教材の整備を行いました。 6 ELT（英語指導助手）を雇用し各学校に派遣しました。	学校運営、備品教材等経費	63,590
2 中学生の社会科や理科、郷土学習等の副教材である「わたしたちの飯田市」の改訂、発刊しました。	「わたしたちの飯田市」等印刷製本費		2,056	
3 授業に必要な教員用教科書、指導書の整備を行いました。	三遠南信教職員交流旅費		91	
4 新たに教育指導主事を配置し、教員の指導力向上や授業改善に向けた取組を支援しました。	下伊那教育会負担金		1,346	
5 理科教育等設備整備補助金を活用し理科、数学教材の整備を行いました。	理科・数学教材整備		1,079	
6 ELT（英語指導助手）を雇用し各学校に派遣しました。	ELT報酬等		20,909	
		外国人講師派遣委託料	1,403	
		その他の経費	62	

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			実績	実績	実績	実績	実績
	「私たちの飯田市」印刷数	冊	0	3,000			
	教員用教科書・指導書配布数	冊	24	13			
	中学校担当ELT雇用人数	人	6	6			

29年度決算(千円)	予算額		特定財源内訳及び補足事項				
		94,544					
	決算額		(国) 理科教育等設備整備補助金 (補助率1/2) 491千円 (そ) 中学校寄附金 1,342千円				
財源の状況	国庫支出金	491					
	県支出金	0					
	地方債	0					
	その他	1,342					
	一般財源	88,703					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	3	2	10	1	69,208	65,646	中学校教育振興事業費
2	1	10	3	2	10	6	1,481	1,456	教員指導力向上事業費
3	1	10	3	2	10	15	22,743	22,355	英語教育推進事業費
4	1	10	3	2	10	18	1,112	1,079	理科教育等整備事業費
5									
6									
7									

振り返り課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に必要な物品や教材の導入を通じて教育の充実を図りましたが、備品の老朽化による修繕費の増加や、備品の更新に十分に対応し難い状況です。</li> <li>・中学校にELTを派遣し英語の授業を支援していますが、新学習指導要領を見据え適正な人数や配置のあり方など検討課題があります。</li> </ul>
上記の課題解決のための有効策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新が必要な備品や新たに必要となる教材等の早期の適正な把握。</li> <li>・各校や校長会主導委員会（英語準備委員会）との連携による、ELTの役割や適正配置などに関する検証。</li> </ul>
次年度に向けての取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に必要な備品、教材等の導入を進めるとともに、学校との情報共有、適正な把握に努めます。</li> <li>・引き続き英語の授業にELTを派遣するとともに、ELTの役割や適正配置等について検証します。</li> </ul>